

# 長門おもちゃ美術館 (山口県)



## <3つのポイント>

- ・「林業・木材産業の発展」と「子育て世代に選ばれるまちづくり」の拠点を狙った施設整備。
- ・行政主導でなく、市民全体で機運を醸成。
- ・400万を集めたクラウドファンディングではキッズクルーズ船を整備。

長門おもちゃ美術館は、長門の海を楽しめるキッズクルーズ船や地元材を活用した空間を活かして、海や山に恵まれた自然や文化を伝える地域交流の拠点となることを目指して設立されました。館内では、木のおもちゃで遊んだり、木育ワークショップに参加したりすることができ、親子をはじめ多世代の交流ができる場所となっています。

## <きっかけ>

- ・平成28年5月に木育を通じて地域活性化に寄与することを目的にNPO法人人と木が設立。
- ・NPO法人人と木と長門市と東京おもちゃ美術館が協働し、平成28年11月にウッドスタート宣言を行い、公民連携で木育事業を推進してきた。

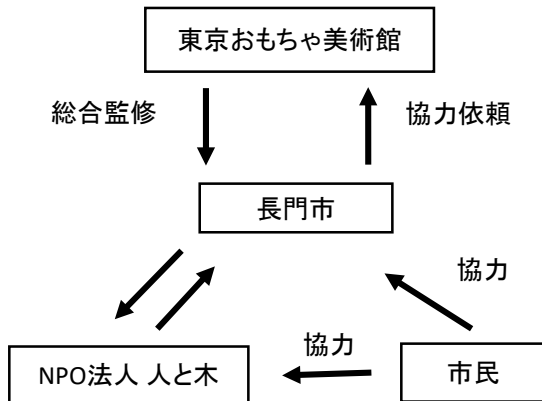
## <目的>

「林業・木材産業の発展」と「子育て世代に選ばれるまちづくり」をしていくために必要な施設整備に取り組むことで、持続可能な地域にしていくこと。

## <内容>

- ・長門おもちゃ美術館の建設。
- ・クラウドファンディングによるキッズクルーズ船の整備。
- ・ボランティアスタッフ育成研修を実施(3回:参加者計99人)。
- ・市内小中学校にて木育ワークショップを実施・施設内に展示する木のたまごプール(約3,000個)を製作。
- ・美術館スタッフの雇用及び研修を実施。
- ・第2回木育キャラバンinながとを実施。

## <実施体制>



## <関係法令>

長門市林業・木材産業振興大綱  
木育推進基本計画

## <経費>

経費: 約123,000千円  
財源: 地方創生拠点整備交付金(木育推進拠点施設整備)地方創生推進交付金(スタッフ育成等の運営体制の整備)いずれも単独市費、補助率: 1/2

## <成果>

- ・クラウドファンディングでは400万円以上の支援を獲得
- ・約100名のおもちゃ学芸員によるボランティアスタッフを確保
- ・第2回木育キャラバンinながとにおいて2日間で4,000人の来場

## <今後の展望>

- ・「長門おもちゃ美術館」から長門市の木育を市外へ波及させていくための取組みを実施していく。
- ・長門市の木育を市外へ波及させ、周辺地域への人の流れをつくりながら、長門市にさらに人が来ることを目指す。



## 廃船を改修し子ども客船に！港一体型「おもちゃ美術館」に造ろう

## <問い合わせ先>

長門市経済観光部農林課林務係 TEL : 0837-23-1142  
長門おもちゃ美術館 TEL : 0837-27-0337  
URL : <http://www.nagato-toymuseum.com>

## <ここに注目>

行政と民間(NPO法人)、市民が上手く協働して成功させた大プロジェクト。このような協働の形や、「一口館長制度」に基づくお金の寄付と、ボランティアスタッフである「おもちゃ学芸員」の時間の寄付による運営手法は施設整備以外の取組にも参考になります。